

令和8年度サッカー部の指導方針等について

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	加藤	渡辺	柏レイソルユース 横浜 FIFTY CLUB	隔週一
副顧問	竹中	田辺	本校サッカー部 OB 全国大会準優勝	隔週一
副顧問	池田	名村		隔週一
副顧問	渡辺			
副顧問	橋本			
副顧問	加納			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
 - ・考えるトレーニングを多く設定し、「思考力、判断力、表現力」を育てる。
 - ・トレーニングや練習試合を通して、生徒の体力向上に向けた取り組みを行う。
 - ・生徒一人一人がチームにおける役割を考え、自主性、規範意識を育てる。
 - ・生涯スポーツとしてのサッカーに触れ、生徒の QOL 向上を目指す。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
 - ・全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権
【もうひとつの高校選手権】全国大会 優勝
 - ・東京 FID カップ（I 部）優勝
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
 - ・多摩地区の特別支援学校に在籍、もしくは高等部へ進学を考えている中学生を対象にサッカー教室を行い、運営補助として生徒が活動する。
 - ・年齢、障害に関係なく、地域のサッカーチームと練習試合を行う。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
 - ・練習は週5日間（土日含め）とし、平日は2時間、土日は3時間を基本とする。
 - ・ただ走るだけの練習や、順番待ちの多い練習を無くし、頭と体の両方を使うトレーニングを計画する。
 - ・顧問は全員年間2回程度の指導実践を行い、指導技術を向上させる。
- (2) 練習や試合等の計画
 - ・年間を通じて月2回の練習試合（公式戦含む）を行う。
 - ・日本知的障がい者サッカー連盟および、東京都知的障がい者サッカー連盟に加盟し、両連盟が主催する大会（年間7大会予定）に参加する。
 - ・東京都障害者スポーツ大会に参加する。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
 - ・家庭と連携し、食育を進める。
 - ・スポーツマンシップ、および JFA のリスペクトの精神を伝える。
- (4) 生徒相互の人間関係
 - ・コートの中、外問わず挨拶をする姿勢を育てる。
 - ・学年に関係なく、協力してグラウンド整備や片づけを行う。
- (5) 学習と部活動
 - ・就業技術科の生徒として、現場実習やインターンシップなど職業に関する学習

を第一に考える。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

- ・科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問と外部指導員で共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

- ・運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

- ・顧問と外部指導員のそれぞれの役割について話し合い、共通理解を図った上で指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

- ・生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
前期	4	部活動・仮入部開始
	5	東京都障害者スポーツ大会
	6	中学生部活体験（7，8，9月）
	7	フットサル選手権東京予選 フットサル関東交流大会
	8	夏季合宿 SG リーグ
	9	フットサル選手権関東予選
後期	10	中学生部活体験（10月）
	11	特体連サッカー大会 東京 FID カップ もうひとつの高校選手権 東京予選 フットサル選手権全国大会
	12	もうひとつの高校選手権 関東予選 サッカー教室
	1	東京サッカーフェスティバル もうひとつの高校選手権 全国大会
	2	
	3	三年生を送る会